

# 家族でニコニコチャレンジ②取り組みの様子



令和3年11月～12月実施

## ● 基本的な生活習慣の確立と自立心の育成をめざして！ ●

「家族でニコニコチャレンジ」の第2回目の取り組みについて、ご報告をいただきました。

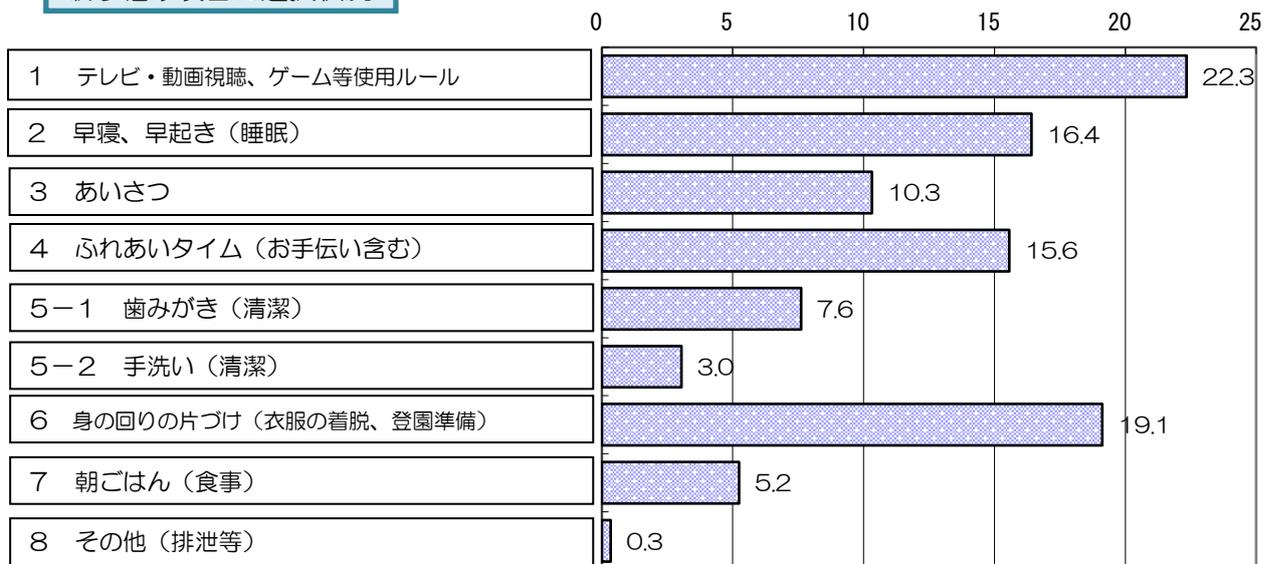
2回目は就学時健診の時期とも重なり、就学を見据えて基本的な生活習慣を家族みんなで見直す取り組みが見られました。今回も家族チャレンジャーと一緒に取り組んでいただきました。親子で一緒の目標だったり別々の目標だったり取り組み方は様々でしたが、親子で一緒に取り組むことで子どもは最後まで取り組むことができ、達成感を味わえたようです。また、園でも友達とニコニコチャレンジについての会話があり、みんなで一緒に頑張っていることで意識が高まったようです。

<取り組み状況>

集計協力園／年長児在園 43園／45園

回収率…95.6% (報告園の提出者数／報告園での配布者数)

### 取り組み項目の選択状況



### 家族チャレンジャーの取り組み状況

※ 複数回答含む

家族チャレンジャーとして取り組んだ方の内訳

父	母	兄	姉	弟	妹	祖父	祖母	その他
81人	401人	13人	15人	6人	7人	2人	2人	6人

※家族全員で取り組んだ家庭もありました

家族チャレンジャーの取り組み項目の選択状況 ※5歳児の項目と同じ、複数回答含む

取組項目番号	1	2	3	4	5-1	5-2	6	7	8
人数(人)	130	70	74	232	22	11	29	23	0
割合(%)	22.0	11.8	12.5	39.3	3.7	1.9	4.9	3.9	0

《子どもの様子に関わる感想》

保護者からの感想等

その日の園の出来事を聞くと、「楽しかった」と短い答えしかなかったが、質問してみるとしっかりと思い出しながら話してくれた。親もじっくり聞くようにしたい。

「がんばるぞ！」と気合を入れて、自分から進んでお手伝いに取り組むことができた。子の成長を感じることができた。

読み聞かせに時間を親子で一緒に楽しめた。子のうれしそうな表情を見ると、親もうれしくなった。

「ニコチャレは？」と促すこともあったが、だんだん自分から明日の登園の準備をするようになった。就学を意識して、続けていきたい。

《家族の関わり方に関わる感想》

毎日言われる前に歯磨きをがんばりました。虫歯にならないようしっかり歯磨きをして毎回仕上げ磨きもいやがらずにさせてくれました。自分の歯磨きだけでなく、弟にも声をかけ、一緒に歯磨きをしてくれました。家族で頑張りました。

子どもと一緒に洗濯物をたたんだ。「園でもこうやっているよ」と話してくれて、コミュニケーションも図ることができて、よかった。これからも親子でできることをしていきたい。

親がスマホを意識して触れないことで、子どもの会話が増えたように思う。

ニコニコチャレンジをきっかけに、親子でふれあいタイムを意識して、コミュニケーションを図ることができた。ふれあいを大事にしたい。

園からの感想等

《親子で取り組むことの効果等に関わる感想》

取り組みによって保護者の意識に変化が見られ、生活習慣の見直しにとっても効果的であった。新型コロナウイルス感染症の影響でゲームをしている時間が増えたようにも感じるので園でも働くかけていきたい。

《園での子どもたちの様子に関わる感想》

「ぼくは〇〇にしたよ」等、目標を友達同士で話題にする姿があった。自分たちで話題にして励ましあう様子がありとてもよかった。今後も取り組みをお願いしたい。

今回の取り組み結果と次年度の取り組みに向け

☆ 今年度の取り組み結果 …各園の報告から… ☆

- ・子ども自身が目標を意識して取り組む姿が親にいい影響を与えている。
- ・就学を意識した項目を選ぶ子が多く、家族で就学に向けて生活習慣を見直す機会となっていた。
- ・取組について園でも話題にすることで子どもたち同士で励ましあい、意欲の持続や高まりにつながっている。
- ・ふれあいタイムの取組から親子で会話を楽しんだり絵本の読み聞かせを楽しんだりすることで、動画視聴等の時間を短くすることができたり、早寝・早起きにつながったりしていて、効果を感じた。
- ・チャレンジを行ってみると「やってよかった」という感想が多くあった。家族と一緒に取り組むことが基本的な生活習慣の確立につながっていくと思うので、来年度も親子での取組を継続してほしい。
- ・なかなか取り組めない家庭の支援が課題でもある。

☆ 次年度の取組に向けて ☆

- ・一人一人の子どもの実態に応じた目標を設定していくことを大切にしつつ、花巻市教育委員会のおすすめ項目も設定し、花巻の子どもの実態に応じた基本的な生活習慣の定着を促していく。
- ・基本的な生活習慣を身に付けることの大切さを園と協力しながら発信し、来年度も「家族で」一緒に取り組めるようにしていく。